



デジタルヒューマン技術協議会

2021年度 第6回協議会・総会

【日時】2022年2月17日（木）10:30から16:00

【場所】Webexによるオンライン開催

【内容】

- ・ 10:30 - 12:00: DhaibaWorks 講習会
 - 演題: 「デジタルヒューマン研究ロードマップの進捗報告」
 - 演者: 多田 充徳、遠藤 維、丸山 翼
(産業技術総合研究所 人工知能研究センター)

- ・ 12:00 - 13:00: 休憩

- ・ 13:00 - 14:30: 招待講演
 - 演者: 和田 隆広先生 (奈良先端科学技術大学院大学)
 - 演題: 搭乗型・操縦型機械における運動快適性向上に向けて
 - 概要: 操縦型機械, 搭乗型機械 (建機, 自動車, 義足, 遠隔操縦ロボットなど) に関する, 操作や運動に関する快適性の要因の解明と, その向上手法に興味がある. これに関連して実施している研究のいくつかを紹介する. まず, 運動快適性の定量化に向けた研究例として, 快適性の逆としての動揺病 (乗物酔い) の計算モデルや, 自動車乗員, 特に最近では自動運転車の導入によって懸念される動揺病の低減策への応用例について述べる. また, 機械操作性評価に向けた研究例についての述べる. また時間が許せば, 高度に自動化された機械システムと人間の協調手法について, 自動運転車や水中ロボット遠隔操作を例に取り紹介する予定である.

- ・ 14:30 - 14:50: 研究発表
 - 演者: 稲邑 哲也先生 (国立情報学研究所)
 - 演題: VR体験と実体験を統合し人とロボットの経験を拡張させるデジタルツイン環境の開発
 - 概要: 工業製品の保守・物流を最適化するデジタルツインに加え, 人間の行動をデジタルツインの対象とすることで, 人間とロボットや機械システムとの協調作業を効率化する方法論が注目されている.



デジタルヒューマン技術協議会

本講演では、ロボットと人の協調作業体験をデジタルツイン環境で再現し、VR 技術による新たな協調作業体験の拡張によって、人とロボットの双方に有益なフィードバックを与えるシステムコンセプトについて述べる。また、小売店舗環境における実証実験に向け、DhaibaWorks とクラウド型 VR プラットフォーム SIGVerse を統合するシステム開発について紹介する。

- ・ 14:50 - 15:10: 研究発表
 - 演者: 二瓶 美里先生 (東京大学)
 - 演題: 高齢者の生活を支えるジェロンテクノロジーの研究紹介
 - 概要: 本報告では、高齢者の生活を支えるジェロンテクノロジーに関する研究紹介と、DhaibaWorks を活用した全国各地にあるご当地体操の評価に関する取り組みについて報告する。

- ・ 15:10 - 15:30: 研究発表
 - 演者: 豊田 航先生 (近畿大学)
 - 演題: 視覚障害者の手引誘導補助具の開発と評価
 - 概要: 感染症対策等の観点から、視覚障害者とガイドヘルパー等の誘導者が物理的距離を保ちながら安全に歩行したいという希望があります。ニーズ調査と人間特性に基づき作製した視覚障害者のための誘導補助具を紹介します。

- ・ 15:30 - 15:40: 休憩

- ・ 15:40 - 16:00: 総会

Webex へ入る際は「所属・名前」の設定をお願いします

総会で議決権を有するのは法人会員のみです

運営委員会に参加できるのは法人会員のみです

〒135-0064 東京都江東区青海 2-3-26

産業技術総合研究所 人工知能研究センター デジタルヒューマン研究チーム内